

令和元年度 麻布大学同窓会 山形県支部総会報告

6月18日に、当県庄内地方及び新潟県村上地方に震度6弱の地震が発生しました。当該地域の観光施設などに被害があったものの、幸い会員に被害はなかったようでした。折しも支部総会前で、同窓会本部並びに講師の齋藤弥代子先生と連絡を取り始めた時期でもあり、大変ご心配いただきました。お心遣いありがとうございました。

今年度の総会は、小動物臨床の先生方に足を運んでもらいたいという企画で、小動物外科学研究室の齋藤先生を招聘して、7月21日（日）の午後からという比較的開業の先生方にも出席しやすい時間設定をいたしました。一方勤務の方には翌日の仕事を考慮し宿泊を控える傾向もみられました。昨年に引き続き県獣医師会にも協力をいただいたこともあり、参加者は講演会で29名、うち会員外が10名、総会には18名の会員の出席がありました。

齋藤先生には、先生の研究テーマである神経病の中でも「てんかん」をテーマにした内容でご講演いただき、わかりやすい内容で大変好評でした。講演後の総会、懇親会にも泊付きで御出席いただき、宴は終始和やかな雰囲気の中で盛会に行うことができました。あらためて感謝申し上げたいと思います。

講演会の併催企画は今回で二回目で、参加者数の増が見られたことは非常に喜ばしいことです。来年度もさらに企画を練って同窓会の会員の出席の拡大を望みたいと思います。こういった企画は他大学同窓会にはあまり見られないようですので、学術的な知識習得の場として同窓会の枠を超えて行うことは、「麻布大学同窓会」の懐の深さをアピールすることとなり、活力の資ともなるのではないかと思います。こういった企画は同窓会本部の御理解と御協力があってこそであり、今後ともよろしく願いいたします。

令和元年8月8日 事務局報告